

## 水谷方早子画伯の絵画寄贈と美術部との交流会について

水谷画伯は桑名高校を昭和 34 年（第 11 回生）に卒業した同窓会員です。

この度、同期でもある伊藤隆彦同窓会長を通して母校への絵画寄贈の申し出があり、自作絵画 32 点が昨年 12 月 19 日に桑名高校 大川暢彦校長に授与されました。その後、美術部において水谷画伯と学生さんとの交流会も行われました。



水谷画伯から贈答作品リストが大川校長に手渡され、大川校長より感謝状が贈られました。

当日の出席者 水谷方早子画伯 大川暢彦校長、飯田賢一教頭 他

伊藤隆彦同窓会会長、上田広吉理事 写真撮影 古川幾男(11 回生)



水谷画伯が美術部室に入って驚愕されたのは 60 年前にデッサンしていた石膏像がそのまま使われていたことでした。「桑高在学時の美術部での部活動は私が絵画に目覚めた原点とも言える場所で後輩の学生さん達と親しく懇談して交流を深める幸せに感謝しております」と大変お喜びでした。同窓会として初めての部活動の支援事業でしたが、今後も何が出来るのかを考え支援活動を展開して参りたいと思います。



桑高美術部で 60 年前、デッサンに励む水谷正子さん（旧姓）